

地域産業都市委員会
令和6年3月14日

廃プラスチック分別収集・再資源化 事業について

事業概要

1 モデル実施

期間：令和5年10月1日～令和6年3月31日

対象：約30,000世帯（約5,000世帯×6地区）

※対象世帯を充実させ、本格実施を想定した分別収集を行う。

方法：新たな回収曜日（プラスチックの日）を設定し、週1回、プラスチックを回収する。

2 本格実施

期間：令和6年4月1日～

対象：全世帯（区内全地域）

方法：新たな回収曜日（プラスチックの日）を設定し、週1回、プラスチックを回収する。

※モデル実施の検証結果を反映して実施する。

モデル事業の実施状況 - 回収実績（月次） -

- ◎ 回収開始後から着実に回収量は増加している。
- ◎ 残渣率は6.1%であり、想定（15～20%）より低い値である。
➔ 質の良い（不適合物の少ない）プラスチックが回収できている。

表1 月別回収実績

単位：kg

回収月	回収量 A	残渣量 B	残渣除去後 C (A-B)	引渡 D	残渣率 (中間処理)
10月分	24,040	1,682	22,358	9,250	7.0%
11月分	28,830	2,176	26,654	28,380	7.5%
12月分	31,760	1,723	30,037	35,540	5.4%
1月分	30,260	1,476	28,784	30,260	4.9%
総計	114,890	7,057	107,833	103,430	6.1%

※残渣量：回収したプラスチックに含まれる不適合物の量

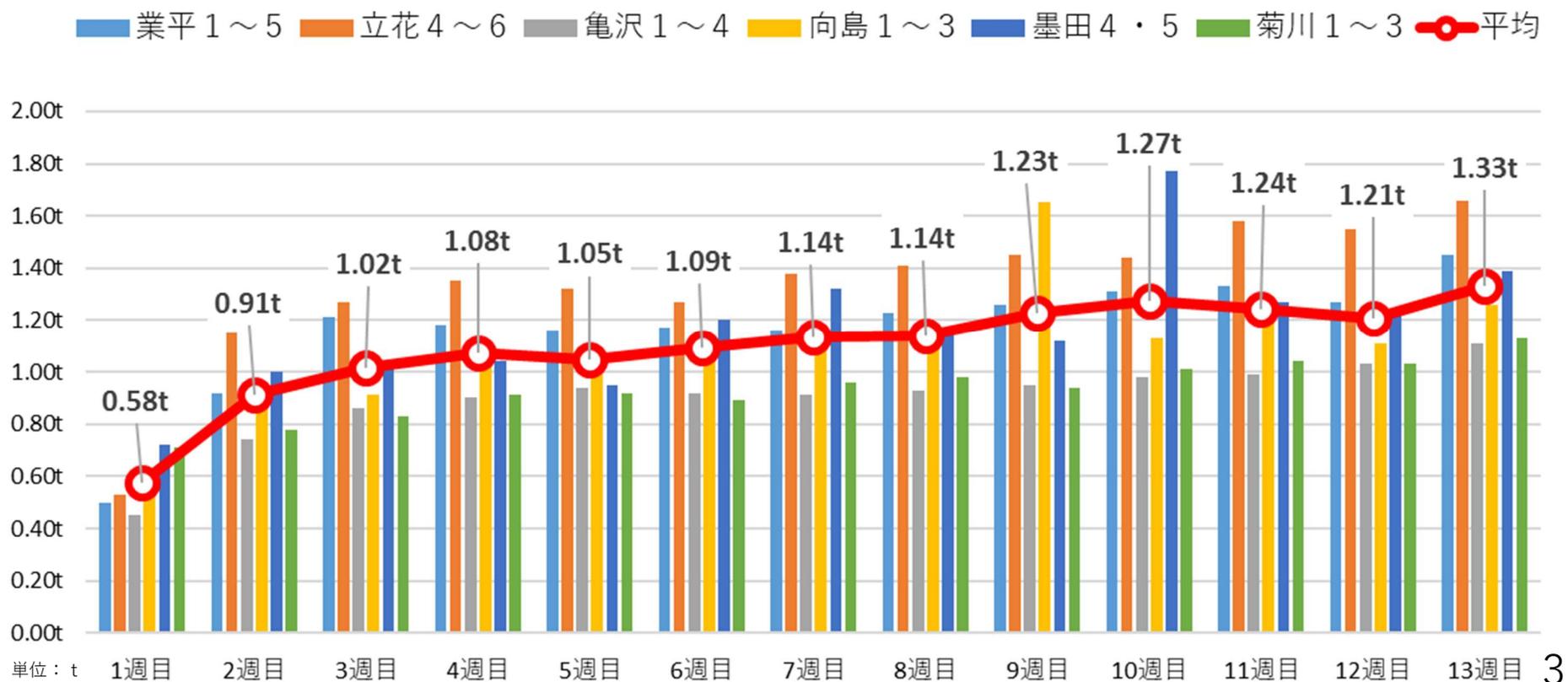
※引渡：中間処理施設から再資源化事業者へ引き渡した量

（一定量貯まった段階で引き渡すので、現時点ではC=Dとはならない）

モデル事業の実施状況 - 回収実績（週次・地域別） -

- ◎ 週を追うごとに平均回収量は着実に増加している。
1週目0.58t/日 → 13週目1.33t/日 ※安定回収時、1.8t/日を想定
- ◎ 各地域の回収量も週を追うごとに増加している。

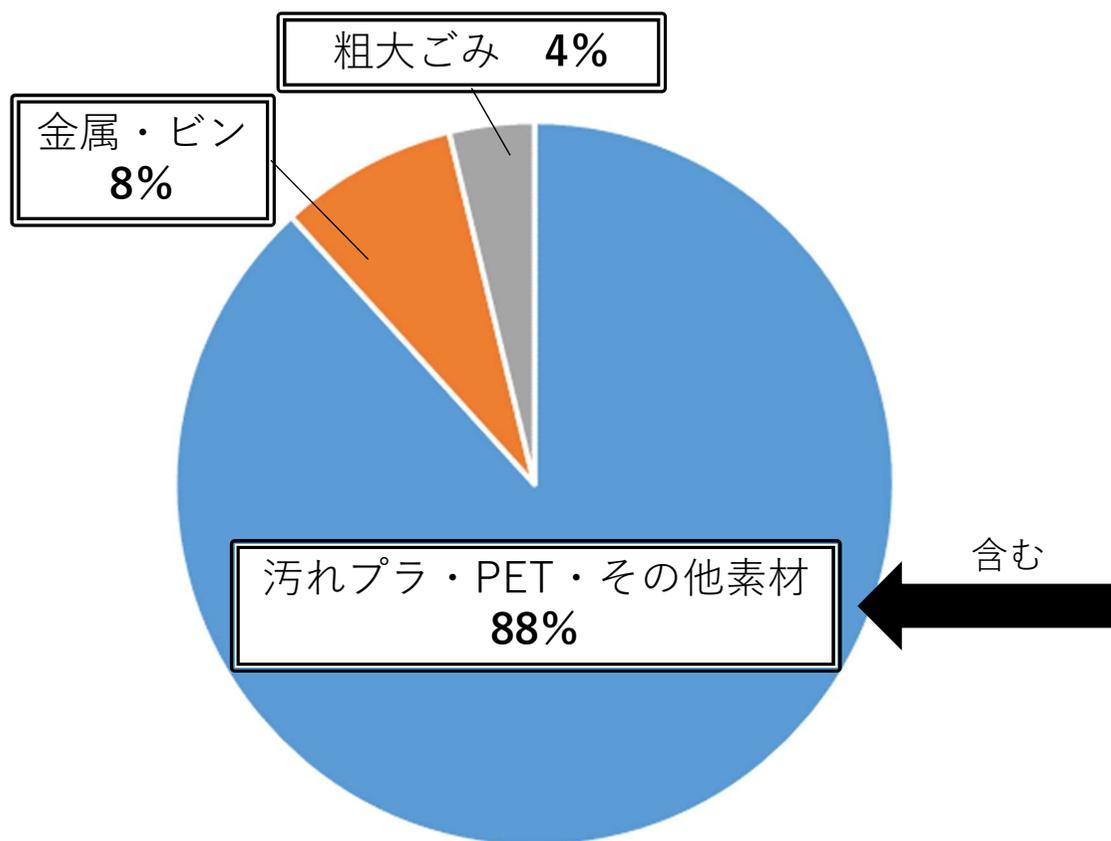
図1 モデル地区別・回収週別 回収実績（2023.10.2～12.30 ※年末対策期間前まで）



モデル事業の実施状況 - 回収実績（残渣内訳） -

- ◎ 残渣のうち「汚れプラ・PET・その他素材」が88%を占める。
- ◎ そのうち、危険物として**電池類の混入が約半数を占め**、次に刃物類が多い。

図2 残渣の内訳



■危険物の混入数（10月～1月実績）

品名	合計	割合
電池類	673 個	49%
刃物類	246 個	18%
医療用品	141 個	10%
スプレー缶	140 個	10%
ライター	101 個	7%
電子機器類	62 個	5%
総計	1,363 個	100%

※端数処理のため割合の総計値は一致しない。

モデル事業の実施状況 - アンケート（調査概要） -

1 目的

廃プラスチックの分別収集・再資源化事業を実施するに当たり、本格実施に向けた分別方法や事業周知方法等の基礎資料を得ることを目的に、モデル地区居住者の分別状況や事業に対する考え方等を把握するために実施した。

2 実施期間

令和6年1月9日～ ※3月中旬締切予定

3 調査方法

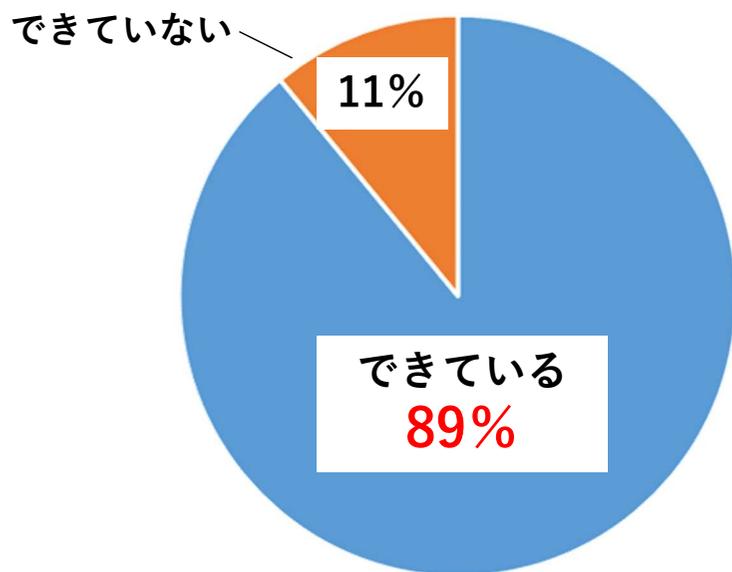
モデル地区の町会にアンケート用紙を配布するとともに、住民説明会の場でも配布した。また、インターネット上も回答可とし、上記以外の区民も回答できるよう実施した。

4 回答状況（集計期間：令和6年1月9日～2月29日）

705件

モデル事業の実施状況 - アンケート結果 -

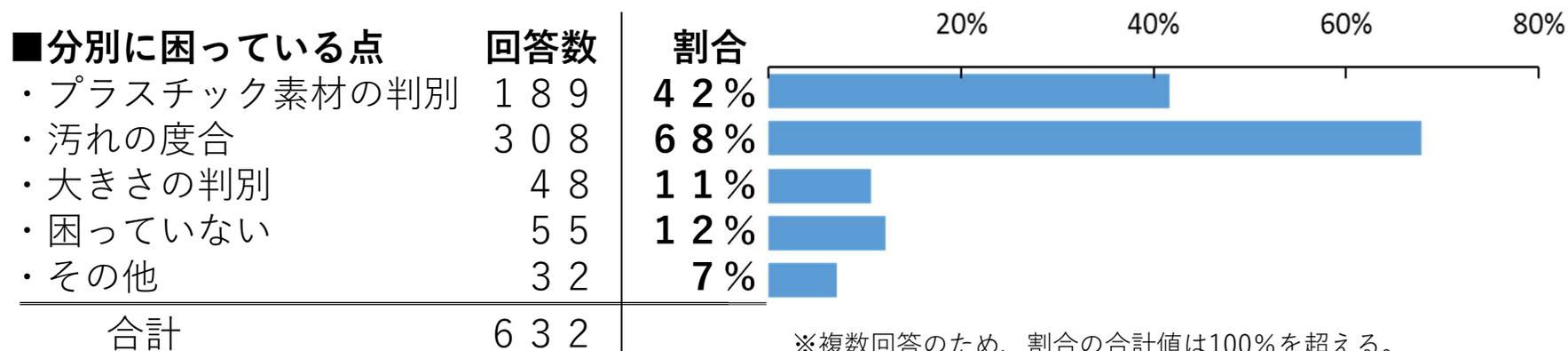
図3 プラスチックの分別ができていないか



モデル地区居住者の回答結果（概要）

- ◎ 89%が分別できていると回答
- ◎ 「汚れの度合」「プラ素材の判別」で分別に迷う方が多い。
- ◎ 排出の際に「風で飛びやすい」ことに困っている方が一定数いる。
- ◎ 「チラシ全戸配布」「回覧板・掲示板」「区報」で事業を知った方が多く、特に「チラシ全戸配布」を効果的な周知方法と考える方が多い。

図4 プラスチックを分別するうえで困っている点



※複数回答のため、割合の合計値は100%を超える。

モデル事業の検証と本格実施に向けた対応 ①

【回収実績より】

◎ 電池類の混入が多く、防止策が求められる。

➡ 小型充電式電池の拠点回収

リチウムイオン電池等の拠点回収を開始し、不適正排出による車両や処理施設の火災を防止します。



【アンケート・区民意見より】

◎ プラスチックの袋が風で飛びやすい。

➡ 風防・防鳥ネットの貸与（戸別収集世帯対象）

排出する際に軽量のプラスチック資源にネットを被せて道路上への飛散を防止します。



◎ 周知チラシを全戸配布して欲しい。

◎ 分別方法（汚れプラ・プラ素材の判別）に迷う。

➡ 新たな分別案内冊子+周知チラシを全戸に配布（2月中旬～）

➡ 「ごみ分別案内チャットボット」でプラスチック分別案内の開始

全戸配布することで、漏れのない事業周知を図ります。

また、プラスチックの分別に迷った際に、お気軽に相談・検索できるよう、チャットボットがプラスチックの分別案内に対応します。

モデル事業の検証と本格実施に向けた対応 ②

◎ プラスチックの日に集合住宅管理人が不在で、排出ができない。

➡ **回収日に管理人を配置できない集合住宅等への特例回収**

- プラスチックの日に管理人を配置し、回収日の当日朝8時までに出していただくことが原則である。
- しかし、管理人が常駐していないなど、本格実施に対応する準備を整えることが難しい場合、プラスチックの日に管理人の配置ができない状況が予想される。
- このような場合、資源化に協力していただくための準備期間として、概ね1年間を目安に、回収日前日までに集合住宅敷地内の指定の場所に排出すれば、プラスチックの日に指定の場所から回収を行う「特例回収」を実施する。

※ 特例回収の手続

【前提条件】

おおよそ1年間以内に管理人を配置し、プラスチックの日に排出可能になること。

【手続】

1. すみだ清掃事務所に相談する。
2. 管理人等の立ち合いのもと、敷地内（屋外）の排出場所の選定及び確認をする。
3. すみだ清掃事務所に申請書を提出する。
4. 内容審査後、正式決定し、該当地域のプラスチックの日に回収開始となる。

《参考》 アンケート結果（抜粋）①

※2月29日時点の回答結果

※問2～5は複数回答可

■モデル地区居住者への設問（N=454）

問1 プラスチックを「プラスチックの日」に分別して出していますか。

➡ 89%が「できている」と回答

問2 プラスチックを分別するうえで、どういった点に困っていますか。

➡ 「汚れの度合（68%）」が最も多く、次に「プラスチック素材の判別（42%）」となっている。

問3 プラスチックを回収場所に出すとき、どういった点に困っていますか。

➡ 「困っていない（43%）」が最も多いが、「風で飛びやすいこと」「マナーが悪いこと」「不法投棄されること」に一定数の回答がある。

問4 プラスチックを「プラスチックの日」に分別して出すことをどこで知りましたか。

➡ 「回覧板・掲示板（62%）」が最も多く、次に「チラシ全戸配布（48%）」「区報（25%）」の順となっている。

問5 プラスチックの資源回収を進めるために充実させた方が良いと思う周知方法はどれですか。

➡ 「チラシ全戸配布（67%）」が最も多く、次に「回覧板・掲示板（54%）」「区報（30%）」の順となっている。

《参考》 アンケート結果（抜粋）②

※2月29日時点の回答結果
※全て複数回答可

■モデル地区以外の居住者への設問（N=251）

問6 プラスチックを分別するうえで、どういった点が難しいと思いますか。

➡ 「汚れの度合（65%）」 「プラスチック素材の判別（64%）」が、突出して多い。

問7 プラスチックを回収場所に出すとき、どういった点が難しいと思いますか。

➡ 「出し方のマナーが悪い（58%）」が最も多く、次に「風で飛びやすい（38%）」 「不法投棄される（38%）」となっている。

問8 プラスチックを「プラスチックの日」に分別して出すことをどこで知りましたか。

➡ 「回覧板・掲示板（47%）」が最も多く、次に「区報（32%）」 「住民説明会（15%）」の順となっている。

問9 プラスチックの資源回収を進めるために充実させた方がよいと思う周知方法はどれですか。

➡ 「チラシ全戸配布（74%）」が最も多く、次に「回覧板・掲示板（41%）」 「区報（40%）」の順となっている。